

## 各地区業況アンケート結果（2022年1月調査分）

（2022年1月27日）

全国鉄鋼販売業連合会

日頃より当会へのご協力厚く御礼申し上げます。さて、1月26日締切で、当会役員141名に対しこのアンケートを行ったところ74名の回答があり（回答率52.5%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。DI = (A×2+B×1-D×1-E×2) ÷ 総回答数×100、（数は回答実数）

### 1. 前年同月比売上数量DIマイナスに

問1】貴社の12月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	15	9	17	14	18	73	75
比率	21%	12%	23%	19%	25%	DI-15	DI+29
売上金額/前年同月比	36	14	10	8	6	74	75
比率	49%	19%	13%	11%	8%	DI+89	DI+112

### 2. 黒字企業は6割

問2】貴社の12月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか？（答）

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	25	19	20	7	3	74	76
比率	34%	26%	27%	9%	4%	DI+76	DI+121

### 3. 年明けも低調な販売続く

問3】貴社の営業窓口から見て1月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向		6	23	19	7	55	-49	-23
民間建設向		6	27	22	7	62	-48	-19
自動車向		3	21	9	3	36	-33	-50
その他需要家向		6	31	16	4	57	-32	-8
仲間取引		2	25	24	7	58	-62	-39
計		23	127	90	28	268	-46	-26
比率		9%	47%	34%	10%			

### 4. 横ばいから若干増と予想

問4】貴社における向う2月から4月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横這い	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測	1	24	32	9	6	72	75
比率	1%	33%	45%	13%	8%	DI+7	DI-7

## 5. 鋼板類のタイト感緩む

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	品種別	A	B	C	D	E		1月
D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	D I
-7	3	-3	-15	0	-3	-14	-9	3	-10	-3	-6	-15	鉄筋用丸鋼			26	3	1	30	-17
-11	0	-4	-11	8	4	4	14	25	14	11	6	-3	構造用丸鋼		1	24	1	1	27	-7
-6	-3	-3	-6	0	0	0	11	21	6	6	6	-10	平角鋼			29	3		32	-9
20	12	21	3	-3	6	23	33	48	41	43	35	20	H形鋼		6	20	2	1	29	7
-13	0	12	19	14	24	83	125	140	142	150	139	88	コラム	4	13	6			23	91
-9	-6	-8	-5	-3	6	-6	3	8	9	3	6	-11	小形山形鋼			33	2		35	-6
-9	-6	-11	-11	-6	-3	-9	3	9	9	8	3	-11	中形山形鋼			34	2		36	-6
-13	-3	-11	-11	-6	3	-16	6	8	9	11	6	0	溝形鋼			33	2		35	-6
-11	7	-7	-6	0	17	39	50	73	68	65	34	19	軽量形鋼C形		1	27	1		29	0
-11	5	-5	-5	0	14	17	39	63	33	39	27	-5	軽量形鋼広巾		1	17			18	6
35	108	127	132	148	158	162	166	158	123	110	79	45	冷延薄板	1	11	13	2	2	29	24
58	105	106	105	100	123	133	133	118	103	83	53	35	熱延薄板		10	21	4		35	17
34	114	145	139	134	161	163	162	145	133	127	97	59	表面処理鋼板	2	13	18	1		34	47
75	127	144	143	150	161	168	169	164	126	109	80	47	酸洗鋼板		11	18	4	1	34	15
49	89	93	84	95	104	116	113	114	100	76	43	30	中板		7	31	3		41	10
15	33	43	34	36	56	76	102	95	90	83	67	53	厚板	1	11	23	3		38	26
-9	0	10	22	24	39	67	70	86	68	68	52	35	極厚板	1	4	13	1		19	26
0	6	19	26	13	45	43	64	41	52	41	33	7	縞板	1	2	26			29	14
-9	8	6	6	15	29	47	57	73	83	71	64	21	中径角		5	26			31	16
-3	-3	-6	0	12	19	32	42	58	58	32	38	23	ガス管黒		3	27	1		31	6
-6	-5	0	3	6	20	29	49	61	61	39	38	19	構造用鋼管		4	26			30	13
9	31	35	34	37	49	57	70	72	64	55	43	21	計	10	103	491	35	6	645	12

## 6. 荷動き悪化、在庫増が市況に影響を与えないか懸念

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交ぜて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	1 2月も在庫出荷が例年より冴えなかった。また、メーカー出荷はここへきて契約残消化が急速に進んだため在庫が急増している。荷動き低迷と在庫増が市況に影響を与えないのか少し心配である。
	B	全道的に閑散期とは言え、荷動きが悪すぎる。過去最低に近い売上、3月までの動向も良くないと思われる。
	C	人口減少が加速し、地場産業は衰退、鋼材需要も減少し続けている。地方都市はこのまま衰退の一途を辿るのか。こんな不安の中でも幸いにも雪解け後の仕事の話がいくつか出てきた。春は来るのか。
	D	札幌の大型案件はあるが、地方は少ない。自動車向けが動き出した。
東北	A	明けましておめでとうございます。年末年始の挨拶回りも多少できたものの未だ不十分。5月連休以降の見積りが増えているが、Hグレードファブはほぼ年末まで山積み一杯で新たな物件は加工先を見つけるのに苦労している。鋼材納期及び価格が早く落ち着くことに期待したい。
	B	土木は風力物件が多いが他は少ない。建築について大型物件はあるが、中小物件は少ない。安値も散見されてきた。

新潟	A	鋼板のタイト感はなくなった。自動車向け材料が引き続き鈍いようだが、建築関係も中型物件が乏しい。
	B	冬に入り動きが落ちている。例年からの値上げもある程度、落ち着いてきている。値さで利益が出たが、今後は難しくなることが予想されるので注意していきたい。
	C	見積りが少ない状況での低価格競争だけは避けたい。
	D	建築物件について予定している物件の発注がいろんな要因で遅れていて、その影響を受けている。
	E	客先の今年の見通しは良いのだが、1月の出足はぱっとしない。但し、建産機向けは相変わらず好調を持続。
	F	鋼材の供給について厚板と厚板関連商品以外、タイト感は緩んでいる。需要もやや停滞気味。
	G	多方面から聞こえてきていた調達難に関して一部業種では改善されてきたという話も聞くが大幅な改善はまだ先の様相。自動車に関して復調の勢いはあったが、想定以上に調達に苦戦し急回復は難しい。建築は一部工事の遅れなど調整に苦慮する場面もみられるが、大手ファブは豊富な受注残もあり順調と言える。
神奈川	A	需要動向は大きな変化を感じられないが、今後は都心の案件が計画通りに進められる様であれば悪くならないと思われる。昨年末、信用問題は高値市況になっているので、中小案件の遅れが増える様であれば厳しい状況になる。今後、オミクロン株の感染状況が長期化すれば問題が起こると予想される。
	B	民間建設、公共建設については、現状注文を維持して推移している状況。
	C	半導体含む部品調達ネックでトラック、ダンプ関連の生産が読めず振り回されている。他業種への波及しており1～3月の稼働は苦戦しそうである。
東京	A	春先の信用問題が心配。
	B	12月は冷延、熱延の出荷量減、酸洗、表面処理は増加。条鋼は概ね出荷増。組立パーツの欠品から完成品の製造を見合わせる傾向になり、向け先によって出荷数量ゼロで回復の見通しが掴めない。
	C	販売価格が上がっているため売上金額はいい数字になっているが、販売数量は昨年同月比▲13%とかなり落ち込んでしまった。中小建築需要の回復が待ち遠しい限り。
	D	(店売り)メーカーからの入荷状況も引き続き2～3ヶ月遅れているため、歯抜けもあり引合いに答えられない。(ユーザー)建設機械は引き続き好調を維持。
	E	半導体関連の客先は活発に動いている。建設関連の引合いはあるが、価格を見て先延ばしする案件もあり、すべてが受注に繋がっていない。
	F	相変わらず注文量は少ない。
	G	12月は前月と変わらぬ稼働日ながら売上高、販売数量は2割弱減少し、コロナ最盛期水準に戻った。1月は年度末を控えた土木関連や設備投資案件の引合いも多く販売についての懸念はないと考える。
	H	主力取扱品の磨き棒鋼は、昨年12月に引き続き低調。自動車関連の注文は、昨年末より急激に減少し、本年2月以降の業績に期待している。
	I	メーカーの値上げにより顧客の採算が悪くなっているところが目立つ。特に材料比率の高いユーザーは与信問題に関わる傾向にある。
静岡	A	鉄骨ファブ大手(元請ゼネコン等)が鉄鋼業界の索引していることに変わらないのではないかと。瀬戸内界限では造船関連も良いと聞く。地域限定で行っている住宅向け鋼管杭も地質調査等に脆弱(ぜいじゃく)感がある。施工方法による見積価格差が出ている。品薄感(隣国物等)がなくなってきており、更に厳しい状況。従来のハウジングメーカーの受注に協力は必至。信用調査会社からも特別な問合せもなく、情報もマクロ的な観点の内容が多く、コロナ禍関連含めこの年末年始における不良債権事件はない。

静岡	B	1～2月はユーザーの稼働も今一つで荷動きも低調。形鋼の値上げも足踏み状態で売上確保の値下げも散見される。上位グレードは秋口まで山積みを固めているが、回転の良い中小案件は少なく、倉出しの伸びは期待薄。メーカー姿勢に大きな変化はなく、値上げ基調の継続を考えると流通にとっては正念場になる。
石川		半導体だけでなく、種々の副資材、取付品が不足していて、逆に余裕が出てきたのは鋼板類になってきたが、致し方ないだろう。数年前にハイテンションボルト不足から「よもや」という感じで建築だけでなく全体が調子悪くなってきた。そのことを思い出すと、在庫量について気を付けて慎重に観ていかなければならない。用心に越したことはない。くわばら、くわばらである。
富山		年の前半は少ないが、後半の物件がある様子。全産業素材の値上げにより、鉄の値上げ理由、説明は不要になるも、材料入手難の理由説明に手間がかかる。値上げムードが広がったために夏から秋の物件の早期決定を急ぐ傾向にあるが、応じることができないため受発注が進まない。
大阪	A	新たなオミクロン株の出現による戸惑いはあるものの数字は悪くなかった。しかし、それは単価の上昇によるもので、実働的に実感が少ないだろう。鉄鋼原料（鉄鉱石、スクラップ）の価格が今までの様に上昇一辺倒ではなくなっているので、今後、注視が必要である。
	B	弊社の鉄筋用丸鋼は、当社では収支トントンの状況。地域性で申し上げると堅実だが、地味な色合いかと感じる。地域による特殊事情は地域事情も含め堅実な仕事ぶり。
岡山		無規格の中板が入りづらい。SS400と値が同じとの回答も。
北九州		電炉メーカーの値上げは一服している。一般需要は決して旺盛とは言えず、販売価格の上昇とともに債権が膨らんできている中、倒産も目に付くようになってきた。
福岡	A	メーカーからは一番高い材料が入荷している。旧在庫が残っている所の値上げが鈍いため、価格転嫁しきれていない。
	B	需要は端境期から回復傾向の感があるが、鋼材問題（価格高騰、納期長期化）は継続し、今後も大きな課題である。